

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3 生涯学習の推進				
	施策	1 自主的学習の推進				
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり					
対象	市民及び市内在勤者					
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○まなび学園等での生涯学習講座の開設 ・高齢者学級 186回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級 22回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座 79回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、各総合支所で開設 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援（研修実施、人材育成等）						
市民参画の有無 【 無 】						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 講座開催数		回	計画	330	330	
			実績	319	313	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合		%	目標	90.0	90.0	
			実績	98.9	99.1	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
・学習機会の提供・きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲の醸成の達成度を測る指標として設定したものであるが、内容の充実した講座等を開設した結果、「受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人」が90%を超える高い割合を達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	・市民のライフスタイルや生活課題が多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとづくりにつながり妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である
総合評価 …上記評価結果の総括		
○学習機会として提供している各種講座をつうじて、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心が高まっている。		
○継続して学習機会の提供を行っていくとともに、併せて地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要である。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業【総括表】

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	21,520	20,915		△ 605
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	21,520	20,915	△ 605

※特定財源の内訳

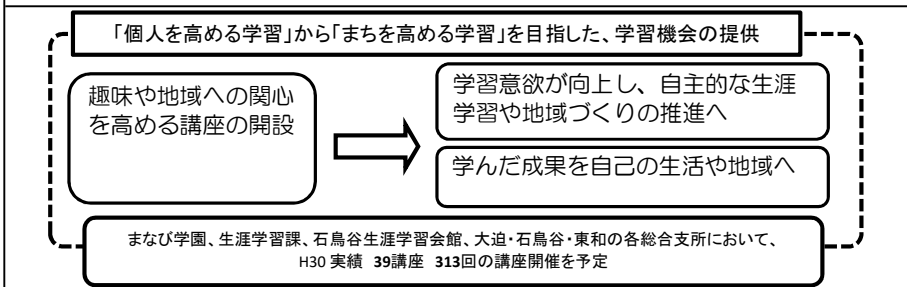
--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。			
事業概要			
○まなび学園等での生涯学習講座の開設 ・高齢者学級 186回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・女性学級 22回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・東和の各総合支所で開設 ・市民講座 79回・・・まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、各総合支所で開設 ○地域（27コミュニティ）で実施する生涯学習事業を支援（研修実施、人材育成等）			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 419

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ①富士大学花巻市民セミナー 46千円  
報償費46、需用費0、役務費0  
【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進  
【講座数】H30 1講座6回 (H29 1講座6回)
- ②岩手大学教育学部出前講座 8千円  
報償費8  
【概要】大学の持つ高度な教育研究機能を活用して、市民の生涯学習を推進  
【講座数】H30 1講座5回 (H29 1講座5回)
- ③高齢者学級開催事業 1,647千円  
賃金4、報償費832、旅費58、需用費532、役務費30、使用料及び賃借料191  
【概要】60歳以上の市民を対象とした、地域学習や生きがいづくりなどを目的とした講座開催  
【講座数】H30 4講座186回 (H29 4講座199回)
- ④女性学級開催事業 164千円  
報償費125、需用費17、役務費2  
【概要】家庭や地域社会で心身ともに豊かで明るく楽しく生活していくために、必要な知識や体験を、多様な学習活動を通じて学びあう。  
【講座数】H30 4講座22回 (H29 4講座23回)
- ⑤市民講座開催事業 1,170千円  
報償費456、需用費319、役務費48、委託料299、使用料及び賃借料48  
【概要】初めての生涯学習の支援、趣味や地域的課題など、初心者向けの講座  
【講座数】H30 22講座79回 (H29 17講座73回)
- ⑥地域支援室(石鳥谷)生涯学習事業 86千円  
賃金4、報償費52、需用費30  
【概要】主に子どもを中心とした講座の開催により、子どもの育成や成長を図る。  
【講座数】H30 7講座15回 (H29 6講座13回)
- ⑦地域生涯学習事業支援 391千円  
【概要】地域コミュニティで実施する地域生涯学習事業を支援（研修実施、人材育成など）  
研修実施10千円、旅費49、自動車借上332千円
- ⑧共通経費（社会教育指導員8人等）17,403千円  
報酬15,132、職員手当0、共済費2,271、旅費0

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-3 生涯学習の推進			
	施策	1 自主的学習の推進			
目的	自主的な生涯学習の取り組み支援				
対象	市民及び市民団体				
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○ふれあい出前講座 生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施 ○生涯学習フェア（まなび学園祭）開催 まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり ○まなびキャンパスカード 児童生徒・富士大生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。 ○学習資源検索システム（はなまきまなびガイド） 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをホームページ（はなまきまなびガイド）で紹介 ○まなび情報ステーション まなび学園に生涯学習団体等が情報発信できるコーナーを設置 ○まなびポイント（キャンパススタンプラリー）ゼロ予算 各課（機関）の事業を生涯学習の単位（ポイント）と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援					
市民参画の有無	【 無 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 生涯学習団体登録数	団体	計画	190	190	
		実績	133	132	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 生涯学習講師新規登録者数	人	目標	14	14	
		実績	7	7	
② 受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	90.0	90.0	
		実績	98.9	99.1	
③ まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合	%	目標	70.0	70.0	
		実績	50.1	48.1	
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
【成果指標の指定根拠】 ○生涯学習講師新規登録者数 ・講師登録の多かった60代が現役労働者の時代であることや、個人での登録を差し控える傾向にあり、減少傾向と考える。 ○受講者アンケートで「もっと学んでみたい」と答えた人の割合 ・当事業で、生涯学習を自主的に取り組むための様々なメニューを提供しており、特に「ふれあい出前講座」は人気のメニューであり、多くの講師を派遣することが出来たことにより学習意欲の醸成に繋がっていると思慮される。 ○まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合 ・まなび学園祭は、「学習成果の発表の場」「生涯学習のきっかけづくりの場」と位置付けており、観覧等を通じて、市民の学習ニーズや学習意欲の向上に少なからず影響を与えていると思料されるものの、アンケートでは、約半数の方にとどまっており、さらなる魅力づくりが必要と考える。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
	生涯にわたっての学び、心豊かな生活を送るため、市民の生涯学習への取り組みを支援することは妥当である
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない
	生涯学習活動への支援により、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心等も深まり、学習に取り組み市民が増えていくことが期待できる
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない
	事業費は講師の派遣経費や学習資源の検索システムのランニングコスト等であることから削減余地はない。 ・職員が関わるのは、内容の企画立案・実績集約・講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である
	受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である
総合評価 …上記評価結果の総括	
○生涯学習のきっかけづくりとして、多様な学習機会の提供を行ったことにより、市民の主体的・自主的に学ぶ意欲が高まっている。	
○本事業の構成は、市民が主体的に学ぶために必要な、講師等の学習資源の紹介、（市の生涯学習拠点施設における）学習成果の発表の場・生涯学習のきっかけづくりを活動として盛り込んでおり、今後とも主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成に努めていきたい。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	6,640	5,908		△ 732
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	6,640	5,908	△ 732

※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標  
生涯学習の推進を図ります。

事業開始の背景・経緯  
市内の施設や地域資源などの学習資源を活用し、市民が自主的に学べる環境づくりを進めるとともに、市民が自らのニーズに基づき学習した成果を地域に還元し、まちづくりにつなげることが求められている。

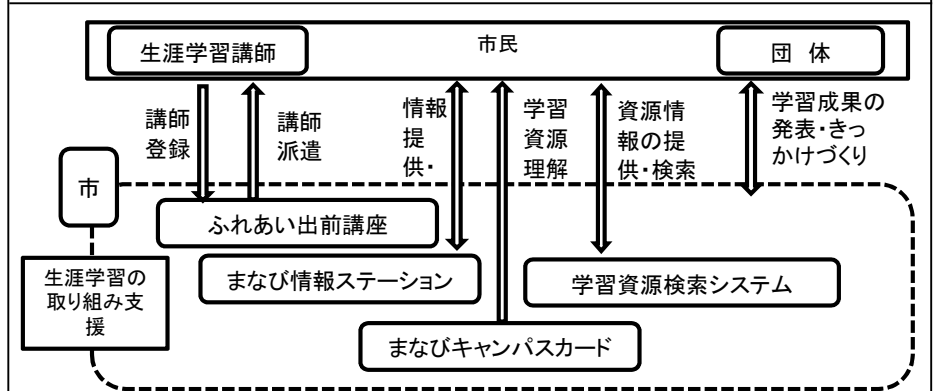
事業概要  
 ふれあい出前講座  
 生涯学習講師、公共機関の職員を10人以上のグループに講師として派遣。専門知識等を生かした講座実施  
 生涯学習フェア（まなび学園祭）開催  
 まなび学園利用者の学習成果の発表の場・市民の生涯学習のきっかけづくり  
 まなびキャンパスカード  
 児童生徒・富士大生が公共施設を利用しやすくすることで、ふるさと花巻への認識を高める。  
 学習資源検索システム（はなまきまなびガイド）  
 指導者・生涯学習団体・先人・学習相談機関などをホームページ（はなまきまなびガイド）で紹介  
 まなび情報ステーション  
 まなび学園に生涯学習団体等が情報発信できるコーナーを設置  
 まなびポイント（キャンパススタンプラリー）（ゼロ予算）  
 各課（機関）の事業を生涯学習の単位（ポイント）と見做すことで、主体的な生涯学習活動を支援

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 9-30-401

（単位：千円）

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- ①ふれあい出前講座 1,786千円  
報償費1,695、需用費91、役務費0
- ②生涯学習フェア（まなび学園祭）開催 825千円  
報償費38、需用費200、役務費1、委託料446、使用料及び賃貸料140
- ③まなびキャンパスカード 169千円  
需用費169
- ④学習資源検索システム（はなまきまなびガイド） 177千円  
委託料177
- ⑤まなび情報ステーション（ゼロ予算）
- ⑥まなびポイント（キャンパススタンプラリー）（ゼロ予算）
- ⑦共通経費 2,951千円  
賃金等2,903（臨時補助員賃金2名分等）、需用費5、役務費43

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	生涯学習の取り組み支援					
対象	市民、市内に勤務先を有する者					
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
視聴覚教育事業 ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） ・16ミリ映写機操作技術講習会（年1回） ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・こども読書週間時 1回 ・読書週間時 2回 ・休日ほっと映画会（毎月1回） ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）（年1回）						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	視聴覚資料の利用本数	本	計画	370	390	
			実績	385	327	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	視聴覚資料を活用した観覧者数	人	目標	6,700	6,900	
			実績	8,499	7,593	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） 視聴覚ライブラリーの情報提供を促進し、各種団体への周知活動等を行ったこと等により、観覧者数は目標値以上の参加が得られている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない	子供向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を検討する。また、多くの市民に視聴覚ライブラリーの活用を促すため、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。非常勤職員1名で月2回の映画会及び春・夏・冬読書週間の映画会に対応している。他にも他市町村や市内の関係団体等への視聴覚資料の貸し出しや16ミリ映写機講習会、カウンター業務及びレファレンス業務もっており、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っており、受益者への偏りはない。
総合評価 …上記評価結果の総括 視聴覚教育事業の周知については引き続き図書館ホームページでの視聴覚ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集やビデオデータのDVD化を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、今後も自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図る。		

## 平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		2,708	2,940		232
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	2,708	2,940		232

### ※特定財源の内訳

--	--

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

### 部重点施策における目標

生涯学習の推進を図ります。

### 事業開始の背景・経緯

社会教育法第5条第12号に規定する視聴覚教育に関する事務で、平成19年3月までは、岩手県中部地域視聴覚協議会として事業を実施してきた。平成19年4月からは、花巻市立花巻図書館に事務事業が引き継がれ、事業を実施している。

### 事業概要

#### 視聴覚教育事業

- ・視聴覚資料の貸出（学校、振興センター、自治公民館等）
- ・16ミリ映写機操作技術講習会（年1回）
- ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台）
- ・図書館こども映画会（毎月1回）
- ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ・こども読書週間時 1回
- ・読書週間時 2回
- ・休日ほっと映画会（毎月1回）
- ・バリアフリー映画会（聴覚障害者等）（年1回）

### 意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

花巻市図書館協議会の中でも視聴覚資料の充実に関する要望があり、今後更に視聴覚資料や機器の周知及び利用促進を図る。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤佐代 内線 8-383

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

### 事業の概要

- ① 視聴覚教育の相談及び教材の貸出（年間）
- ② 16ミリ映写機操作技術講習会（年1回）
- ③ 16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台）
- ④ 図書館こども映画会（毎月1回）
- ⑤ 夏・冬・春休みこども映画会（各1回）
- ⑥ こども読書週間時 1回
- ⑦ 読書週間時 2回
- ⑧ 休日ほっと映画会（毎月1回）
- ⑨ バリアフリー映画会（聴覚障害者等）

### 経費の内訳

1 報酬	1,935	社会教育指導員報酬1人
2 共済費	291	社会教育指導員社会保険料等
3 報償費	18	16mm映写機操作講習会講師謝礼
4 旅費	0	岩手県地域視聴覚教育協議会研修会
5 需用費	176	映写ランプ、目録製本等
6 役務費	143	16mm映写機保守点検料等
7 委託料	119	視聴覚資料DVD化
8 備品購入費	241	視聴覚資料（DVD）
9 負担金補助金及び交付金	17	岩手県地域視聴覚教育協議会連絡協議会負担金

### 保守点検対象機器所有台数

16ミリ映写機 25台（花図5・大図1・石図1・東図2・学校1・振興センター7他）

### 花巻図書館ライブラリー機材保有台数

- ① DVDプレーヤー 1台
- ② プロジェクター 4台（花巻2・石鳥谷1・東和1）
- ③ ビデオデッキ 4台（花巻1・大迫1・石鳥谷1・東和1）

### 花巻図書館ライブラリー資料所有本数

- ① 16ミリフィルム 126本
- ② DVD 291本
- ③ ビデオテープ 736本

### 平成30年度花巻市内教材利用状況（県内ライブラリー借用上映も含む）

観覧者数 7,593人 上映回数 241回 教材使用本数 327本

### 平成30年度16ミリ映写機保守点検（6台）

16ミリフィルムの破損防止を図るため、計画的に点検を実施（利用頻度順）  
花巻図3、賢治記念館1、振興センター2  
（交換部品がある場合は所有者負担）

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104410	若者魅力アップセミナー開設事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-3 生涯学習の推進			
	施策	1 自主的学習の推進			
目的	生涯学習講座の開設によるひとづくり				
対象	市内に在住・在勤の20歳から40歳までの独身男女				
意図	コミュニケーション能力の向上を図るとともに自分の魅力を高め、豊かな心を形成する				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること ○「若者魅力アップセミナー」の開設（年6回）				
市民参画の有無	〔 無 〕				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 魅力アップセミナー開設回数	回	計画	6	6	
		実績	6	6	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 講座の受講満足度（受講者アンケート）	%	目標	75.0	75.0	
		実績	100.0	100.0	
② 自分に自信が持てるようになった人の割合（受講者アンケート）	%	目標	80.0	80.0	
		実績	91.7	72.7	
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	<input type="radio"/>	概ね目標値どおり	<input type="radio"/>	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載）	
○「講座の受講満足度」 県内では、20歳～40歳を対象とした出会いやマナーに関するセミナーが少ないことから関心を得られ、また各回とも講師の話が分かりやすかったとの感想が多く理解度の高さが伺われ、満足度も高い数値であると思慮される。 ○「自分に自信が持てるようになった人の割合」 アンケートでは、体験型の講座（茶道やレストランでのマナー）が有意義であった感想が多く、参加者がスキルアップを実感することができるプログラムであったと伺われ、高い数値割合に繋がったと思慮される。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない ・市民のライフスタイルや生活課題が多様化している中で、新たな課題に対する市民の学びに対するきっかけづくりとしての取り組みであり、市の関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない ・受講者満足度等の成果指標により、有効性が判断されることとなるが、今日的な課題解決に向けた講座として設定することから、有効であるものと期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・平成27年度に事業内容を一部見直し、回の統合や講座時間の見直しなどを行ったほか、東京の専門業者への業務委託による実施から地元講師を利用している直営方式に平成30年度から改め経費削減を図ることとした。それ以上の削減余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である ・受益者は、他の市民講座と同様に新たな課題を解決するための市民を対象としており、受益の機会は均等している。 ・講座開催の最低限の経費となる講師謝礼等を公費負担としており、適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括	
○平成30年度に観点別評価で構成する「受講後アンケート」を実施したところ、満足度は高く、回答者全員が講座に満足していると答えており、受講者には概ね好評である。満足度以外の項目は以下のとおり。 ・以前よりもコミュニケーション・ファッションなどに関心を持つようになった人の割合 81.8% ・以前よりも自分に自信が持てるようになった人の割合 72.7% ・セミナーで習ったことを実践している人の割合 81.8% ・コミュニケーションやファッションの技術が身についたと思う人の割合 81.8% ○アンケートの結果は高い数値である一方、参加者数が少ない現状であり、年齢をはじめとする対象者の設定から詳細な見直しが必要と思慮される。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104410	若者魅力アップセミナー開設事業

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	896	268		△ 628
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他			
	一般財源	896	268	△ 628

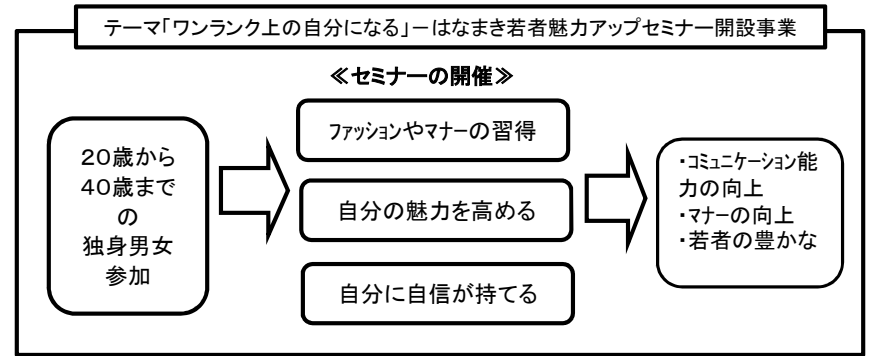
※特定財源の内訳

--

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標 生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯 市内の若者のコミュニケーション能力を向上し、自分の魅力を高め、もって豊かな心が形成される機会とするために開設した。			
事業概要 ○「若者魅力アップセミナー」の開設（年6回）			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等） H28年度の市政懇談会において、いい取り組みであるとの意見をいただいている。			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 菊池功昇 内線 419 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 「若者魅力アップセミナー」の開設 268千円  
 報償費180、需用費88（消耗品費23、印刷製本費65）、通信運搬費0  
 ※H29年度まで全面業務委託で著名な講師での実施。H30年度は直営方法に変更。  
 ・全6回開催（7月～12月）  
 ・内 容：自己分析、コミュニケーション、パーソナルカラー  
 冠婚葬祭マナー、和室での作法、レストランのマナー

はなまき若者魅力アップセミナー事業「日々を豊かに 大人の楽しみ方講座」

テーマ	回	日 程 (予定)	内容
「自分らしい」が心地いい	1	7月29日(日) 10:00 ～12:00	講師の指導のもと、自己カウンセリングにより本来の自分を知り、新たな魅力を引き出す方法を学ぶ。
会話を楽しむコミュニケーション術	2	8月26日(日) 10:00 ～12:00	第1回で知った「本来の自分」を踏まえて、人間関係、コミュニケーションの基礎を実践を交えて学ぶ。
パーソナルカラーでおしゃれを楽しむ	3	9月30日(日) 10:00 ～12:00	自分に似合うカラーとファッション、ヘアスタイルなどを学び、見た目アップを図る。
知っておきたい冠婚葬祭のマナー	4	10月21日(日) 10:00 ～12:00	冠婚葬祭に役立つ立ち居振る舞いとビジネスシーンに役立つ身のこなしを実践を交えて学ぶ。
「和」を楽しむ和室での作法	5	11月18日(日) 10:00 ～12:00	和室での立ち居振る舞いやお茶のいただき方などの基本を実践を交えて学ぶ。
レストランでの食事の楽しみ方	6	12月8日(土) 17:30 ～19:30	レストランでのスマートな立ち居振る舞い、食事のマナーの基本を実践を交えて学ぶ。



平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3	生涯学習の推進			
	施策	1	自主的学習の推進			
目的	読書活動の推進					
対象	乳幼児～高校生、一般					
意図	乳幼児親子への絵本配布や読み聞かせ指導や、乳幼児～小学生を対象とした「おはなし会」等の開催で親子のふれあいと読書への関心を高め、読書活動に関心のある市民を対象としたスキルアップ講座を行うことにより、更なる読書活動の推進を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業 ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導を実施。 ○読書活動推進 ・図書館司書の配置及び乳幼児親子から小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。 ○花巻市みんなでライブラリー事業 ・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生とその保護者を対象とした図書館及び読書に関連した事業を実施。 ・親子で読書や図書館にふれ合い参加できる事業計画 ○花巻市読書活動推進スキルアップ講座（富士大連携） ・読書に関心のある市民等を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導 ○読書おもいで帳の配付・活用推進 ・希望者に読書おもいで帳を配付・活用推進し、読書への関心を高め図書館の利用促進を図る。						
市民参画の有無 [ ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ実施回数	回	計画	125	125	
			実績	125	127	
②	読み聞かせ実施回数	回	計画	125	150	
			実績	145	142	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	ブックスタートおよびブックスタートプラス、フォローアップ参加率	%	目標	99.0	99.0	
			実績	98.6	97.8	
②	読み聞かせ参加者数	人	目標	1,850	2,000	
			実績	2,133	2,132	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○ 概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
平成26年度から、ブックスタート事業の対象者を11か月児から4か月児に変更したことにより、早い時期からより多くの母子参加の機会が得られ、読書推進を行うことができています。また、子どもの数は減少しているが、対象年齢に合った絵本の選書等に努めていることにより参加を得ている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第三次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない	4か月児と1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上を図っている。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図る。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	事業費は、配布絵本の購入費や非常勤職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業を月4回（2時間程度）実施し、読み聞かせは、月3回（1時間程度）実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務を行っているため、削減の余地はない。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
総合評価 …上記評価結果の総括		
・平成14年度から実施してきたブックスタートに加え、平成24年度から新たにブックスタートプラスとして1歳6か月児健診時に実施し、参加率の向上が図られた。引き続き2つの事業を実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図ることができる。 ・読み聞かせの参加者数は大きい増加はしていないが、継続して実施することにより本への関心度をさらに高めることができ、読書習慣が身につくことが期待されるため、引き続き広報誌・えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、今後も読み聞かせボランティアの協力を得て実施していく。		

平成30年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,929	7,114		185
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,929	7,114		185

※特定財源の内訳
----------

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
生涯学習の推進を図ります。			
事業開始の背景・経緯			
読書活動推進については、各図書館で実施してきたが、平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が公布・施行され、この法律等に基づき、花巻市においても「こども読書活動推進計画」を策定し、読書活動の推進を図っている。			
事業概要			
○ブックスタート及びブックスタートプラス事業 ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診に合わせ絵本を贈り読書指導を実施。			
○読書活動推進 ・図書館司書の配置及び乳幼児親子から小学校低学年を対象にした読み聞かせの実施。			
○花巻市みんなでライブラリー事業 ・読書習慣の定着化及び図書館の利用促進のため、小学生から高校生とその保護者を対象とした図書館及び読書に関連した事業を実施。			
・親子で読書や図書館にふれ合い参加できる事業計画			
○花巻市読書活動推進スキルアップ講座（富士大連携）			
・読書に関心のある市民等を対象とした図書館の基礎講座、読み聞かせ指導			
○読書おもいで帳の配付・活用推進 ・希望者に読書おもいで帳を配付・活用推進し、読書への関心を高め図書館の利用促進を図る。			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			
議会にて、小学生によるビブリオバトルを推奨すべきとの意見があり、対象者及び回数を増やし実施した。			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 花巻図書館 担当係長 伊藤佐代 内線 8-383 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】	
①ブックスタート及びブックスタートプラス事業	1,664千円 (前年比+0)
・保健センターで開催される4か月児の離乳食教室(ブックスタート)及び1歳6か月児健診(ブックスタートプラス)に合わせて、絵本を贈り読書指導を行う。	
1ボランティア謝礼	132
2絵本等	1,521
3切手代	11
	花巻 大迫 石鳥谷 東和
	毎月各2回 隔月1回
	ブックスタート 隔月1回
	ブックスタートプラス 毎月1回
	毎月1回
②読み聞かせ事業	4,658千円 (前年比+50)
・乳幼児親子から小学生低学年を対象とした読み聞かせの実施。	
1社会教育指導員報酬	2人 3,782
2社会保険料等	582
3講師、読書ボランティア謝礼	145
4読み聞かせ消耗品	149
	花巻 おはなし会 (0~2歳、3~4歳、5~小学低学年対象) 毎月各1回
	大迫 おはなし会 月1回
	石鳥谷 おはなし会 毎週1回
	東和 読み聞かせ会 月2回
③花巻市みんなでライブラリー事業	179千円 (前年比+70)
・小学生から高校生とその保護者を対象に、図書館および読書への関心を高めることにより、読書習慣の定着化や図書館の活用方法の周知、本と親しむ喜びなどを体得させる。	
1講師、ボランティア謝礼等	103
2需用費	74
3切手代	2
④読書活動推進スキルアップ講座	73千円 (前年比▲22)
・読書活動を行っている個人、団体等のスキルアップを図るとともに、習得した知識や技術を図書館運営に活かすことにより、市民参画による開かれた図書館運営を目指す。	
1講師謝礼	40
2需用費	12
3切手代	21
⑤読書おもいで帳の配付・活用推進	540千円 (前年比+87)
・読書おもいで帳を市内の乳幼児から中学生を対象に、希望者へ発行することにより読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	
1需用費	11 インクリボン
2印刷製本費	529
	記録帳 3,500冊×@151.2=529千円

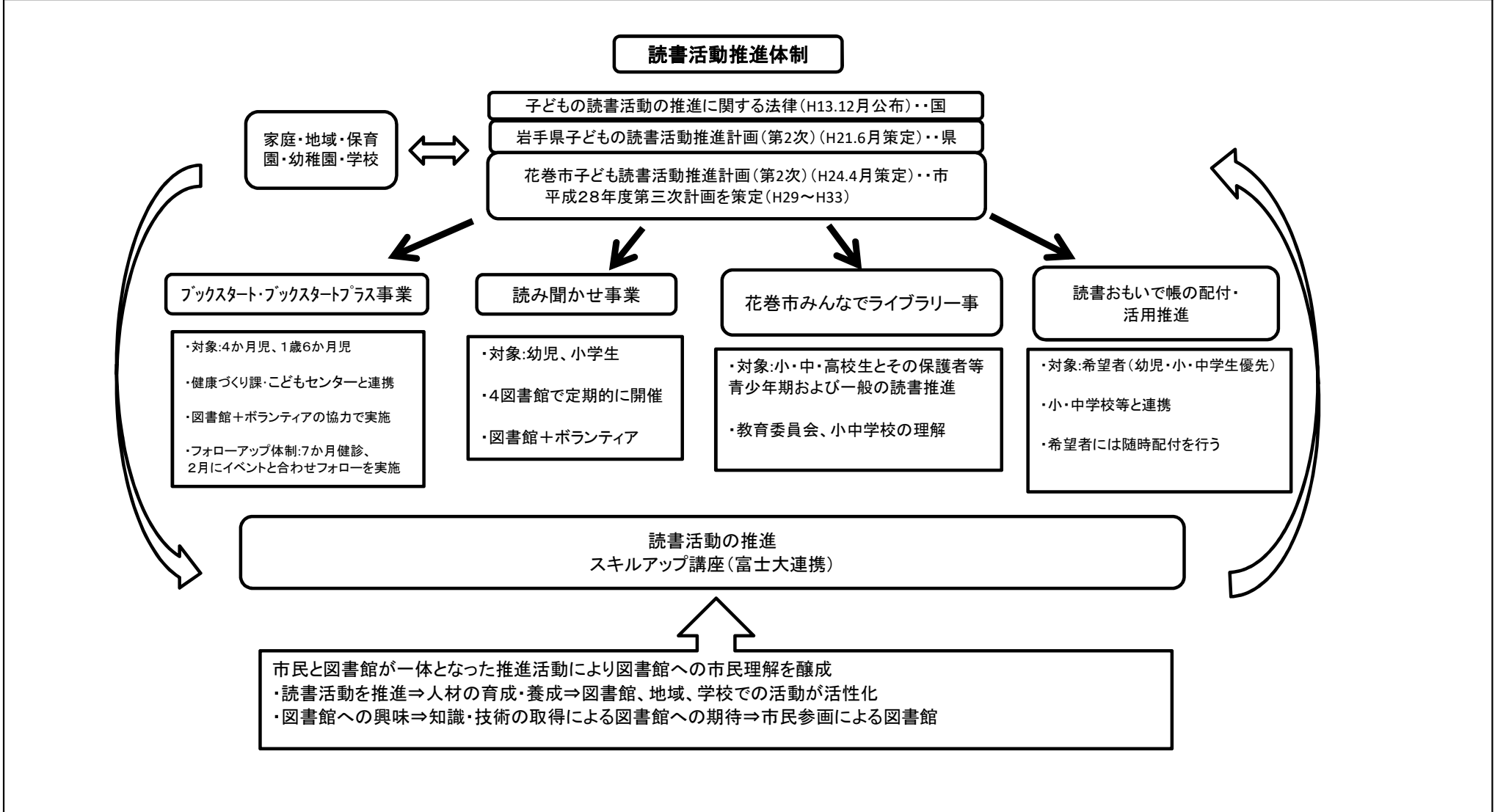
平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	03	104460	読書活動推進事業

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業(繰越)
総合計画	分野	地域づくり			
	政策	4-1	地域主体のまちづくり		
	施策	1	地域づくりへの参加促進		
目的	生涯学習・地域づくり活動の場の整備				
対象	市民（生涯学習団体）				
意図	生涯学習の場及び地域づくり活動の拠点整備が図られる				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
○東和コミュニティセンター整備に係る実施設計作成業務	法令上の諸条件の調査及び関係機関との打ち合せ、実施設計方針の作成 実施設計図書の作成、概算工事費の検討				
市民参画の有無	【 東和地域における説明会（基本計画 H29.8月実施予定） 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	後援・協賛		補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 実施設計業務	件	計画		1	
		実績		1	
②		計画			
		実績			
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	件	目標			
		実績			
②	件	目標			
		実績			
③	件	目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
東和コミュニティセンターは、生涯学習の場及び地域づくり活動の拠点として整備を進めており、利用者数等の成果指標については、供用開始後となる。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
耐震診断（平成27年11月）により安全が確保できないこと、東和コミュニティセンター検討委員会からの提言書（取り壊し及び施設整備の検討）が提出された。現在は休止しており近隣施設を活用しているが、人口減少、過疎化によりコミュニティの希薄化が進行中、これまで以上に地域住民による自主的な地域づくりが肝要であり、東和地域におけるコミュニティ交流機能を持つ活動拠点が必要である。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	05	01	108020	東和コミュニティセンター整備事業(繰越)

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			26,460		26,460
財 源 内 訳	国・県				
	地方債		26,400		26,400
	その他				
	一般財源		60		60

※特定財源の内訳
・過疎債 26,400千円

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯

地域（東和コミュニティセンター検討委員会）からの提言をうけ、当該施設の耐震診断を実施した結果、安全性の確保が困難なことから平成28年4月1日をもって休止した。地域からは施設整備を要望されている。

事業概要

○東和コミュニティセンター整備に係る実施設計作成業務  
法令上の諸条件の調査及び関係機関との打ち合せ、実施設計方針の作成  
実施設計図書の作成、概算工事費の検討

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

地域からは現施設の解体撤去、新施設整備の要望がある（H27.9.24東和コミュニティセンター検討委員会より提言書提出）。また、同委員会でアンケート調査を実施したところ、現施設を取り壊した場合、新施設が必要と回答した割合87.5%であった。

担当部署 部名 東和総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 及川恒雄 内線 9-40-303

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

<b>1 経緯</b>	
H26.10.23	土沢地区市政懇談会 (東和コミュニティセンターの今後の方向性について質問があり、東和地域の最重要課題として取り組んでいきたい旨回答)
H27.9.24	東和コミュニティセンター検討委員会より、「東和コミュニティセンターのあり方について」提言書提出
H27.11.11 ~12.28	耐震診断実施
H27.12.4	議員説明 (耐震基準を満たしていないとする耐震診断の中間報告について説明)
H27.12.28	耐震診断最終結果 (中間報告と数値は変わらず、安全性が確保できない)
H28.1.21	市民説明会 (耐震診断最終結果に伴う使用休止及び代替施設等について説明)
H28.2.15	東和コミュニティセンター代替施設等説明会 (東和コミュニティセンター利用団体へ代替施設利用について説明)
H28.3.22~31	外周の仮囲い及び待合室設置
H28.3.28~31	事務室団体保健センターへ引っ越し
H28.4.1	東和コミュニティセンター休止

**2 事業内容**

東和コミュニティセンター実施設計業務 26,460千円  
設計書、積算数量調書、設計図、電子媒体、縮小版設計図、建築確認申請書類  
建築物エネルギー消費性能適合性判定申請書類等の作成

## 平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	生涯学習・地域づくり活動の場の整備					
対象	市民（生涯学習団体）					
意図	生涯学習の場及び地域づくり活動の拠点整備が図られる					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○東和コミュニティセンター解体工事 本体解体：鉄筋コンクリート造3階建て 物置、開放渡り廊下解体 ○東和コミュニティセンター外壁吹付材アスベスト検査 外壁吹付け塗材の定性・定量分析 ○東和コミュニティセンター新築工事に係る建築確認、境界復元業務 建築確認審査、境界の復元 ○東和コミュニティセンター新築（建築・電気設備・機械設備）工事 鉄筋コンクリート造一部2階建て ○東和コミュニティセンター新築工事監理業務 新築工事（建築・電気設備・機械設備）の監理 ○東和コミュニティセンター外構工事設計業務 測量調査、駐車場の実施設計						
市民参画の有無 【 東和地域における説明会（基本計画 H29.8月実施予定） 】						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	
		後援・協賛	補助・助成		委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 解体工事	件	計画			1	
			実績			1
② 新築工事	件	計画			1	
			実績			1
③ 外構工事設計	件	計画			1	
			実績			1
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	件	目標				
		実績				
②	件	目標				
		実績				
③	件	目標				
		実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
東和コミュニティセンターは、生涯学習の場及び地域づくり活動の拠点として整備を進めており、利用者数等の成果指標については、供用開始後となる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が設置する施設であり、良好な状態で使用していただくための整備は市が行うことが妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	地域の意見を聞き、使いやすく、また、安全性を確保し、利用しやすい施設の整備を図る。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	見積により要求しているため、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市が設置する施設であり、利用者からは、無料を基本とし冷暖房料の負担や、営利企業などの場合には使用料を徴収する。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
耐震診断（平成27年11月）により安全が確保できないこと、東和コミュニティセンター検討委員会からの提言書（取り壊し及び施設整備の検討）が提出された。現在は休止しており近隣施設を活用しているが、人口減少、過疎化によりコミュニティの希薄化が進行する中、これまで以上に地域住民による自主的な地域づくりが肝要であり、東和地域におけるコミュニティ交流機能を持つ活動拠点が必要である。		

# 平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		10,736	180,479		169,743
財源内訳	国・県				
	地方債	5,600	179,800		174,200
	その他				
	一般財源	5,136	679		△ 4,457

※特定財源の内訳

- ・過疎債 179,800千円  
解体工事、新築工事、新築工事監理業務、外構工事設計業務

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
地域の特色を生かした地域づくり

事業開始の背景・経緯

地域（東和コミュニティセンター検討委員会）からの提言をうけ、当該施設の耐震診断を実施した結果、安全性の確保が困難なことから平成28年4月1日をもって休止した。地域からは施設整備を要望されている。

事業概要

- 東和コミュニティセンター解体工事  
本体解体：鉄筋コンクリート造3階建て  
物置、開放渡り廊下解体
- 東和コミュニティセンター外壁吹付材アスベスト検査  
外壁吹付け塗材の定性・定量分析
- 東和コミュニティセンター新築工事に係る建築確認、境界復元業務  
建築確認審査、境界の復元
- 東和コミュニティセンター新築（建築・電気設備・機械設備）工事  
鉄筋コンクリート造一部2階建て
- 東和コミュニティセンター新築工事監理業務  
新築工事（建築・電気設備・機械設備）の監理
- 東和コミュニティセンター外構工事設計業務  
測量調査、駐車場の実施設計

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

地域からは現施設の解体撤去、新施設整備の要望がある（H27.9.24東和コミュニティセンター検討委員会より提言書提出）。また、同委員会でアンケート調査を実施したところ、現施設を取り壊した場合、新施設が必要と回答した割合87.5%であった。

担当部署 部名 東和総合支所 課名 地域振興課地域支援室 担当係長 及川恒雄 内線 9-40-303  
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1 経緯

- H26. 10. 23 土沢地区市政懇談会  
(東和コミュニティセンターの今後の方向性について質問があり、東和地域の最重要課題として取り組んでいきたい旨回答)
- H27. 9. 24 東和コミュニティセンター検討委員会より、「東和コミュニティセンターのあり方について」提言書提出
- H27. 11. 11 ~12. 28 耐震診断実施
- H27. 12. 4 議員説明  
(耐震基準を満たしていないとする耐震診断の中間報告について説明)
- H27. 12. 28 耐震診断最終結果  
(中間報告と数値は変わらず、安全性が確保できない)
- H28. 1. 21 市民説明会  
(耐震診断最終結果に伴う使用休止及び代替施設等について説明)
- H28. 2. 15 東和コミュニティセンター代替施設等説明会  
(東和コミュニティセンター利用団体へ代替施設利用について説明)
- H28. 3. 22~31 外周の仮囲い及び待合室設置
- H28. 3. 28~31 事務室団体保健センターへ引越し
- H28. 4. 1 東和コミュニティセンター休止

2 事業内容

- 東和コミュニティセンター解体工事 80,849千円
  - ・本体解体 鉄筋コンクリート造3階建て 床面積1,525.73㎡  
a-建築工事（煙突カポスタック解体、アスベスト含有壁吹付塗材除去含む）  
b-機械設備工事（浄化槽一部解体：機械室上屋共含む、地下油タンク一部解体：上スラブ含む）  
c-電気設備工事（新設体育館配線接続工事含む）
  - ・物置A解体 木造平屋建て 床面積4.97㎡
  - ・物置B解体 鉄骨造平屋建て 床面積26.50㎡
  - ・開放渡り廊下解体 鉄骨造2階建て 床面積25.70㎡
- 東和コミュニティセンター外構工事設計業務 2,592千円  
測量調査（基準点測量、路線測量、公図等転写連続図作成）、駐車場の実施設計
- 東和コミュニティセンター新築（建築・電気設備・機械設備）工事 93,961千円  
鉄筋コンクリート一部2階建 1,114.15㎡  
会議室、和室、多機能ホール、市民ホール、東和ふるさと歴史コーナー  
障がい者自立支援コーナー、管理事務室、倉庫ほか
- 旧東和コミュニティセンター外壁吹付材アスベスト検査 65千円
- 東和コミュニティセンター新築工事監理業務 2,484千円  
新築工事（建築・電気設備・機械設備）の進捗監理等
- 新築工事に係る建築確認審査手数料 68千円
- 新築工事に係る境界復元業務 461千円

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	01	104451	生涯学習施設整備事業費	
総合計画	重点戦略					
	分野	人づくり				
	政策	3-3 生涯学習の推進				
	施策	1 自主的学習の推進				
目的	老朽化している生涯学習施設を安全で快適な学習空間として適切な維持管理を行う					
対象	石鳥谷生涯学習会館					
意図	子連れの方や高齢者等も含めて市民が生涯学習や活動の機会に多く参加できる環境づくり					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○石鳥谷生涯学習会館の充実：計画的な施設改修及び利便性の向上 ・計画的施設改修（管理の簡素化・避難所機能の維持を含む） H 2 9 講堂棟外壁等修繕 H 3 0 搭屋雨漏り等修繕、建物劣化度調査業務委託  ・利便性の向上 H 2 9 エレベーター新設設計（設置検討） H 3 0 エレベーターの新設、身障者用トイレ修繕						
市民参画の有無 [ 無 ]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	石鳥谷生涯学習会館の利用者数	人	計画	17,314	16,000	
			実績	17,314	16,071	
②	2階以上の利用率	%	計画	17.7	14.0	
			実績	17.7	21.1	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	学習テーマを持って日頃学習に取り組んでいる市民の割合	%	目標	35.3	35.3	
			実績	35.3	37.2	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		<input type="radio"/>	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
<p>・市の生涯学習関連施設のほか多様な学習活動の場が提供され、個々のニーズに対応した学習活動への関心が高まり、テーマを持って学習に取り組む市民の割合が増加している。</p> <p>・石鳥谷生涯学習会館は築42年を経過しているため、利用者の不便を解消し、安全性を確保することにより安心して生涯学習の拠点としての活用を図る。活動指標として、年度内利用人数及びエレベーター設置による効果として2階以上の利用割合を把握する。平成30年度目標値については、現状の利用人数からエレベーター設置工事に伴い利用が制限されることを予測に加えて設定した。エレベーター設置後は利用者が回復すると見込まれる。</p>	
目的妥当性	<p><b>公共関与の妥当性</b></p> <p><input type="radio"/> 妥当である 見直し余地がある 妥当でない</p> <p>市が設置する施設であり、良好な状態で使用していくための整備を市が行う必要がある。</p>
有効性	<p><b>成果の向上余地</b></p> <p><input type="radio"/> 向上余地がある 向上余地がない</p> <p>設計や整備方法については、地域や利用者の意見を聞き、利用しやすい施設とすることで、施設の利用率の向上を図る。</p>
効率性	<p><b>事業費・人件費の削減余地</b></p> <p>事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない</p> <p>経年劣化に伴い、整備を必要とする設備等が年々増加しており、より緊急性の高いものから実施しており、事業費削減の余地はない。また、人件費についても最小限の業務時間であり削減の余地はない。</p>
公平性	<p><b>受益と負担の適正化余地</b></p> <p>受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である</p> <p>施設の老朽度や危険度を総合的に考慮しながら、市全体で整備が必要な施設を判断して公平性を確保する。また、施設使用料については無料を基本とし、営利目的等の利用者に対しては統一的な基準で使用料を徴収する。</p>
総合評価 …上記評価結果の総括	
<p>石鳥谷生涯学習会館は、地域の生涯学習の拠点施設であるとともに、道の駅石鳥谷や南部杜氏協会と隣接した立地から事業所の研修会や杜氏講習会の会場として利用されているほか、石鳥谷町芸術文化協会、花巻市青少年育成会議の活動拠点としての役割も担っている。</p> <p>生涯学習施設の安全性及び利便性の向上とともに施設の長寿命化により、多くの市民に生涯を通じた学習活動の場を提供し、石鳥谷地域の地域づくりや活力あるひとづくりを支援する必要がある。</p>	



平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	10	05	01	104451	生涯学習施設整備事業費

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		11,592	37,400		25,808
財 源 内 訳	国・県				
	地方債	10,700	31,600		20,900
	その他				
	一般財源	892	5,800		4,908

※特定財源の内訳

合併特例債 31,600千円  
 $(3,294 + 1,167 + 28,836) \times 95\% \div 31,600$ 千円

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
 生涯学習活動を更に充実させる

事業開始の背景・経緯

石鳥谷生涯学習会館の適切な施設管理が必要だが、雨漏りが複数発生し会議室が使用できなくなるなど、緊急に防水対策が必要である。また、定期利用団体構成員が高齢化していることに加え、利用者ニーズが多様化する中で2階以上の利用増進により生涯学習や活動の環境を整える必要がある。

事業概要 …目的を実現するための事業手法を記載すること

○石鳥谷生涯学習会館の充実：計画的な施設改修及び利便性の向上

- ・計画的施設改修（管理の簡素化・避難所機能の維持を含む）
  - H29 講堂棟外壁等修繕
  - H30 塔屋雨漏り等修繕、建物劣化度調査業務委託

・利便性の向上

- H29 エレベーター新設設計（設置検討）
- H30 エレベーターの新設、身障者用トイレ修繕

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

H29.2まちづくり懇談会（芸術協会）にて石鳥谷生涯学習会館のユニバーサル化について意見があり、設置の可否に関し建物の構造などを早く調査したいと回答している。  
 公共施設等総合管理計画における個別施設計画では改築

担当部署 部名 石鳥谷総合支 課名 地域振興課地域支 担当係長 八重樫祐加 内線 930・204  
 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

生涯学習施設整備事業 37,401千円（予算額44,831千円）

1.1節 需用費 3,294千円（予算額3,437千円）

- 石鳥谷生涯学習会館本館雨漏り等修繕 3,294千円  
 3階会議室等雨漏り及び内装劣化修繕。塔屋外壁クラックが大きく剥離していることから、雨水が建物内部に浸水し天井から漏水しているほか内装劣化しており躯体損傷がみられる。雨水浸水をなくし長寿命化を図るため早急に修繕が必要。

場 所	H29	H30	説 明
塔 屋（屋上）		3,294	雨漏り（階段踊場・第2会議室）修繕
講 堂 棟	9,423		雨漏り（講堂トイレ・ロビー）修繕

1.3節 委託料 5,270千円（予算額6,394千円）

- エレベーター設置工事監理業務委託 1,166千円
- 生涯学習施設建物劣化度調査業務委託 4,104千円

石鳥谷生涯学習会館の計画的な補強や改修を行う必要があることから、躯体の劣化状況の調査を行う。

1.5節 工事請負費 28,836千円（予算額35,000千円）

- 石鳥谷生涯学習会館エレベーター設備設置工事  
 既存施設の有効活用を図るため、石鳥谷生涯学習会館の2階及び3階が高齢者等にも利用しやすいようエレベーター設備を新設。

平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ド	事業名
一般	10	05	01	104451	生涯学習施設整備事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

**既存施設の有効活用**

- ・修繕や交換
- ・設備等の更新
- ・機能の向上

**長寿命化**

**施設状況(建物劣化度劣化)調査による現状把握**

**エレベーター新設**  
トイレ修繕・洋式化  
身障者用トイレ修繕

**外壁等修繕**  
ボイラー簡易化

消防設備等の点検・修繕等  
非常用発電機修繕

**施設の老朽化**

**設備等の老朽化**

**漏水による躯体損傷**

**維持費の増大**

**利用者の固定化・高齢化**

**利用者の利便性向上**

**施設の維持・管理簡素化**

**法令順守・避難所機能の維持**

**【工程】**

- ・本館雨漏り等修繕 おおむね 3か月
- ・建物劣化度調査 おおむね 4か月
- ・エレベーター新設工事 おおむね10か月

※エレベーター工事スケジュール

設計(市)	約6週間	←								
契約事務	約6週間		←							
工事	約6か月			←						
(EV制作)	約4か月				←					

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩